

# 環境局

## 一般会計要求総額

167億2,973万円  
(対前年度 1.6%)



## < 基本的な考え方 >

「美しき世界の環境首都」を目指した取り組みを推進するため、平成20年度は、次の5つの考え方を柱として、環境首都づくりを推進していく。

- 1 市民との協働の促進～「市民環境力」の強化
- 2 地球温暖化防止対策の推進
- 3 廃棄物の減量・リサイクルの促進～3R活動の推進
- 4 環境の保全・監視指導の徹底
- 5 環境ビジネス・環境国際協力の促進

市民との協働の促進	北九州市環境首都創造事業 菜の花プロジェクト推進事業	1,900万円(環境首都推進室) 300万円(都市環境管理課)
地球温暖化防止対策の推進	次世代エネルギーパーク構想推進事業 太陽光発電等への補助金交付事業	4,400万円(都市環境管理課) 2,300万円(都市環境管理課)
廃棄物の減量・リサイクルの推進	古紙リサイクル推進事業 地域特性型市民環境活動推進事業	3億4,000万円(計画課) 2,100万円(計画課)
環境の保全、監視指導の徹底	不法投棄防止事業 PCB適正処理推進事業 大気汚染常時監視システム整備事業	2,400万円(監視指導課) 1,200万円(環境産業政策室) 3,800万円(環境保全課)
環境ビジネス・環境国際協力の促進	新規環境産業創出事業 環境国際協力推進事業	3,100万円(環境産業政策室) 1,200万円(環境国際協力室)

## 世界の環境首都を目指す

日本の環境首都コンテスト総合1位記念市民力強化事業

「心から住みよいと思えるまち」を子どもや孫など未来の世代に引き継いでいく「持続可能な社会」の実現を目指す。

1,500万円(環境首都推進室)

## 地球温暖化対策を推進する

ノーマイカー推進事業

自動車から公共交通・自転車等への転換を進め、マイカー使用抑制によるCO2削減に取り組む。

600万円(都市環境管理課)

## 市民が誇りを持てる 美しいまちづくりを行う

100万本植樹・美しいまちづくり事業

美しい環境首都の実現、地球温暖化防止、都市のなかの自然の実現を目指し、市民・企業参加型の植樹活動を行う。

1,400万円(都市環境管理課)

は、新規事業、 は拡充事業

## 光化学スモッグ発生原因を調査する

光化学スモッグ発生原因の究明に関する調査

国や県と連携し、大陸からの大気汚染物質の影響や市内のオキシダント発生量に関する調査・研究を行う。

2,000万円(環境科学研究所)

主な見直し項目

ごみ収集、まち美化の委託業務の見直しによる減